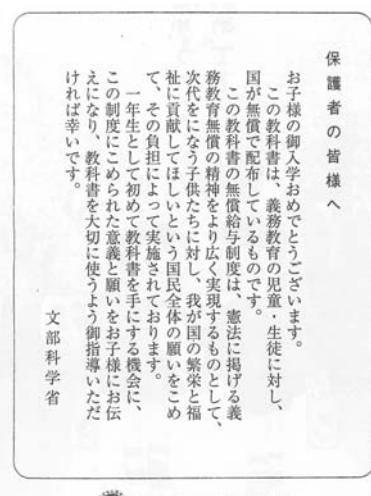


人権ワークショップ（参加型人権研修）開催

参加者同士の学びの場

「みんなが先生、みんなが生徒」



現在も小学校の入学時に配布されている教科書が入っている袋



(裏)

6月6日(木)プラザ西伯で、
第1回南部町「気づく・知る・
感じる」人権のつどいを開催
しました。今回は94名の方に
ご参加頂きました。

始めに、平成24年度の人権
スタンプラリーの表彰者82名
を代表して長谷川忠実さん(西
町)に、人権会議会長の坂本昭
文町長より、表彰状と記念品

無償運動の取り組みを参考に、
「義務教育は、これを無償とする」
という、憲法二十六条の精
神を実現した人々の行動につ
いて、みんなで学び合いました。
そして今の子どもたちに何
を伝えるのか、私たち大人がど
んなん人間であろうとするのかな
どを話し合いながら、国民の不
断の努力の精神(憲法十二条)

研修では、義務教育の教科書
無償運動の取り組みを参考に、
「義務教育は、これを無償とす
る」という、憲法二十六条の精
神を実現した人々の行動につ
いて、みんなで学び合いました。

が贈られました。

を確認しました。

会場には、教科書を買つてい
た時代の人と、タダだった時代
の人と意見を交換し合い、「難
しい」「自分には関係ないかも」
と思いつながらも、問い合わせに
真剣に向き合っている、素敵な
「おせの背中」がたくさんあ
りました。皆さまのご協力で有
意義な研修会になりました。

感想の中から一部紹介します

▼自分はない知識、意見を
聞くことができた。「当たり
前のことに感謝する」とい
うことをしていきたい。(20
代男性)

▼教科書無償の題材から、当
時の人に思い、今の時代の
豊さは、「それを大切にすること」と学んだ。(30代女性)

▼大人として、子どもたちへ
伝えていかなくてはならない
い事を再確認しました。(30
代男性)

▼講演会を聞くより、一人ひ
とりの意見が出されて良い
会だった。時間が足りない
くらいだった(40代男)

▼ワークショップでは、色々
な意見が出ました。なかなか
かまとまりませんでしたが、
世代の違う方々の話がうか
がえてよかつたです。「あた
りまえ」と思うことへの感
謝の気持ち、やはり大切に
したいですね。(50代女性)



- ▼教科書の問題一つで、こんな
に色々な意見が出て、昔の学
校時代の思い出がよみがえ
つてきました。(60代女性)
- ▼多數の人が参加されていて
ビックリした。問題意識を
持つということが分かった。
(60代男性)
- ▼久しぶりの学習会に参加し
ました。これからも参加し
ます。(70代男性)